

過去と未来、生と死、善と悪
—— つなぐのは手紙。

秋の企画展

錦

K I N S H U

繍

2008.10.11^[SAT]—12.19^[FRI]

開館時間：図書館開館時間に準じます。※詳しくはHPでご確認ください。

休館日：日曜・祝日、10/31(金)・11/7(金) 13(木) 14(金) 26(水)

※但し、次の日は開館いたします。10/12(日)・11/2(日) 3(月・祝) 24(月・祝)



宮本輝ミュージアム

Miyamoto Teru Museum

(追手門学院大学附属図書館内)

宮本輝氏が昭和57(1982)年に発表した「錦繡」は、書簡体という珍しい形式の小説です。手紙の往復で、主人公男女の感情や情景すべてを語りつくしたこの小説は、数多くある宮本作品の中でも特にファンの多い作品です。

2008年秋の企画展では、作品の冒頭に登場し深い印象を与えている蔵王の紹介や、書簡体という形式で他の作家が書いた作品紹介、また2007年に舞台化されたときの貴重な資料を加えて、幅広く「錦繡」をご紹介します。

展示内容

[第一部] 作品を深く味わう

- 作品紹介
- 舞台である山形県蔵王の紹介
- 直筆原稿
- 読者から寄せられた感想文の展示

[第二部] 作品のひろがりを感じる

- 翻訳本
- 舞台「錦繡」関連資料
- 宮本輝氏および作品登場人物への「手紙」(来場者参加コーナー)

今回は、作品と関連が深いモーツァルトの曲をBGMに、ミュージアムをご観覧ください。

協力:蔵王温泉観光協会、ホリプロ



舞台「錦繡」パンフレット

前略

蔵王のダリア園から、

ドッコ沼へ登るコンドラ・リフトの中で、

まさかあなたと再会するなんて、本当に想像すら出来ないことでした。

私は驚きのあまり、ドッコ沼の降り口に辿り着くまでの二十分間、

言葉を忘れてしまったような状態になったくらいです。

あなたに、こうしてお手紙を差し上げるなんて、

思い返してみれば、それこそ二十、三年振りのことになりました。

(小説「錦繡」冒頭部より)

秋の企画展

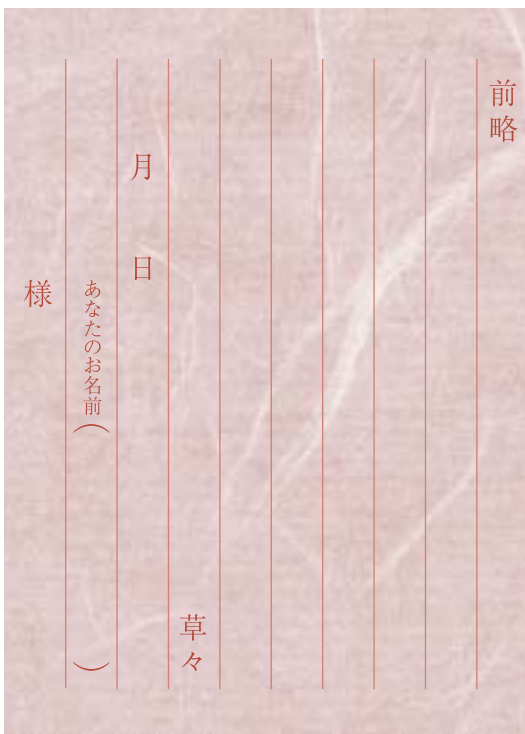
錦繡

K I N S H U

あなたも手紙を出してみませんか？

この手紙をミュージアム内特設ポストに投函してください。いただいた手紙はミュージアム内に掲示した後、宮本輝氏にもご覧いただく予定です。

前略

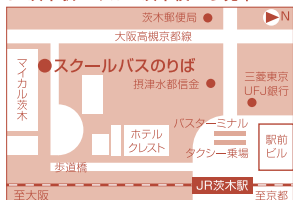


スクールバス利用

阪急茨木市駅西口から発車



JR茨木駅マイカル茨木横から発車



阪急バス利用

「JR茨木」から
「追手門学院前」下車
(JR茨木駅前3番バス乗場
82・88系統)



宮本輝ミュージアム

Miyamoto Teru Museum (追手門学院大学附属図書館内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-9639

URL: <http://www.oullib.otemon.ac.jp/>

※スクールバスの時刻表につきましては図書館HPでご確認ください。



追手門学院大学

